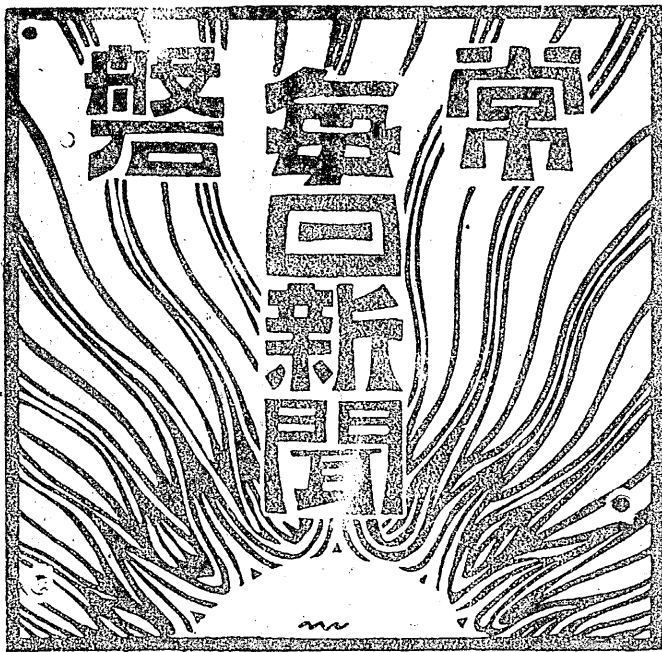


發行兼編輯人 川崎文治



定部一ヶ月廿五錢 廣五錢十二 休日曜大祭
印刷所 本報印刷部 陽社

刊夕日四廿月十

處が數丁先づ從卒倒れ中佐又數彈を蒙つて將に倒れんとして頻りに白い布を揮つて傳令の前進を勵まし乍ら倒れました、その時附近に一兵卒があつてそれが這つて來たが之は傳令の途中足を撃たれて歩く事が出來ず隠れてゐたので中佐を導いてその隠れ場所に落つける中佐は喜んでやがて頭蓋を取出し、その一等卒と共に一々之を引裂いて詔勅の寫しは丸めて自分で嚙み下し

てしまひました。銃聲般々として轟き飛び來る彈丸のその間にあつて中佐は流血淋漓たる身の重傷も物ともせず、悠然として傷ついた腕を揮つて一通の述懐書を作り赤心を籠めてその一等卒に渡し、君國の爲め這つて行けそして之を旅團長にと托しお禮心に双眼鏡を授けたのです。そしてその卒の慌て、止めた甲斐もなく腰なる拳銃取りより早く一發、眉間を撃つて自ら最後を潔くしました之は日も西山に傾く四時三十分であつたそうです。その夜八時援兵遂に李官堡に入つて危機を救つたが

之中佐の書面が届いた結果です、我が大包圍軍の萬全を期する上に於ても重大事、それを控へては萬死に一生を期しても断行せねばなりません、そこに中佐の心なりの大決心があつて終に壯烈なる最後となつたのですが全く一身を顧みず君國に捧げたる武士道の精隨だと思ひます。私はこの物語りを聞いて最後の光景を想像し、勇ましい男らしい感動を覚えてその心を我がたしなみの筆でも弾き傳へたいと思つて作曲したものです



急告貸家
本町通り目抜の場所にて角家敷貸し度し
姓名在社

常警文藝
新そば
▲新そばや夜冷の迫る山の宿 柳人
▲新そばや未だ行燈の山旅籠 全
▲遠來の居士ねぎらうて今年そば 万袋
▲新そばや更科庵の麻暖簾 全
▲峠越えて新そばの家に宿りけり 一夢
▲新そばや僧を首席の小振舞 満壽莊
▲新そばの手打の味を賞しけり 全
▲新そばやたすきかけた坊の妻 文狂
▲新そばや泊りとさめし軒の雨 全
▲おもねらぬ人の奢りや走りそば 一醉
▲獲り入れて全き里や走りそば 全
▲滞在の旅籠にそばの新味哉 冬全
▲茶にも又嬉し新粉のそばの味 全

故山管見
附 綠雨小集
[内容] (管見之部)
人物管見 (石城、双葉二郡人物六十名...)
▼ 文明文化管見
▼ 生活管見
▼ 自然管見 (小集之部)
▼ 小論文
▼ 斷想、隨感
▼ 聖夢 (哲學小説)
▼ 和歌、俳句、雜編

天長佳節日發行
山田綠雨著
赤心堂病院
平町田町電話四七五番

高久病院
平町田町電話五一三番
内科・外科・花柳病科
耳鼻喉科・婦人科

松村病院
平町田町電話一〇七番
内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

石材商會
南町火見下
電話呼出二六七番
主 鈴木米彌

大々勉強仕
小量ニテモ御用命ノホト願ハス
迅速ニ配達致シマス
(コンクリート用)
砂利及砂
中山岩採掘販賣
此レニ附隨スル
土工請負業

御披露
獵銃製造工場
新設致シマシテ各般獵銃、空氣銃ノ新調及修理ノ御要求ニ應ジ價格ヲ最モ低廉ニ日限確實、小修理等ハ御待合ノ内ニ調製致シマスカラ何卒御用命ノ程ヲ御願ヒ申上マス尙葉書カ電話デオ問合セ次第御返事シマス

磐城平銃砲製造所
平町田町電話四四一番

電話新設披露
電話卅一番
平町土橋通り
原齒科醫院

久野製菓販賣部
福島縣平町一丁目
電話一五〇番
工場 平町長橋町六十一番地

東京瓦ス コークス値下
壹俵二付 壹卅錢
壹噸二付 三十三圓
弊鐵工場が瓦スコークス販賣元を委屬されて滿五週年に達した御禮心にコークスの御買上が十俵に達しまする毎に有聲座の一等觀覽券進呈します

丸登株式会社
川添房二郎

電話に金融致し
株式賣買中値

Table with exchange rates and prices for various banks and commodities.

失業者救済の爲めに 平町から勞資代表を 選出して全國と連絡

需給關係の圓滑を圖る 紹介所規則が改正

不景氣の爲め續出する失業者救済策の一端として中央職業紹介事務局にては全國に在する六十八箇所の職業紹介所と連絡を執り活動を開始する事となつたが、この間に不備な點がある。今度職業紹介所法施行規則に改正を加へる事に決定した、同案に依ると職業紹介所の在る平町等にも資本家代表と勞働者代表を選出し顧問委員なるものを新設し大いに勞資協調に依つて求人及び求職の道を拓き全國的に需給關係を明らかにする事となる。

求人一覽表を 湯屋に掲ぐ

職業紹介所が

平町職業紹介所にては創設後日尙淺きに拘らず相當の効果を奏し求人の申込等日増しに多くなる模様である。爲め今後求人は是れを一覽表に掲げ全町の湯屋に張り出して求職者の便宜を圖り一方求職申込は要所々々の町辻に掲ぐる計劃である。

石城海交團發起 海軍々樂隊を招ぎ

晝夜二日間平町に 盛んな演奏會を開催する

平地方を中心とし在郷海軍々人にして豫備役編入後の人々を以つて組織せる石城海交團にては若松藩藩主に於て現在海兵團長子爵松平海軍大佐の手導を得海軍々樂隊を平町に招ぎ在郷軍人分會の後援を受け軍樂隊演奏會を催す事となり萬端打合せの爲め副團長松崎綠幹事神谷兼次郎の兩氏が廿六日鎮守府に赴く由であるが同隊卅名の來平期は多分來月上旬頃で晝夜二日間適當

酒造の 仕込み遅る

荷動きさ少なく

石城郡は酒造石數縣内第一で二萬七千石を示し其消費

常磐片々

石城と相馬が木炭組合長の椅子を御商賣柄真黒になつて争つて居る隙に乗じてマシマと双葉が奮ふ

トビにアブラゲを浚はれた観あり

前科十三犯の兇賊には逃げられる片々子には辯口叩かれる伊藤署長頼の肉落つ

其位へ心配すればモツ澤山悪い時ばかりはない、馬肥える秋だ營養分でもドツナ

濱三郡木炭 組合長決定

昨日選舉執行

濱三郡木炭組合長選舉は石城、相馬兩郡が其椅子を狙つて可成り猛烈な競争を演じ一時は昨日の選舉會が流會を傳へらるゝに至つたが結局妥協成立し組合長には富岡の早川清久氏、第一支

は二萬五千石、一人當り一斗四升三合に當るが本年は一帯に不況で昨今需要期に入りながら更に荷動きがなく前年生産した古酒の持越高が高いといふ様な状況で一般に手控への模様であるから仕込みも例年よりは十五日位遅れるであらうと

卒業證書を濫發した 下野中學校長を脅迫

平町に潜伏中捕る

犯人は男爵藤堂氏の縁者

東京市麻布區筈町保田忠彦(三)は現貴族院議員にして研究會の領袖藤堂高成男爵の甥であるが明治大學を半退學し運動競技に興味を持つ處より妊娠中なる内縁の妻石城郡小川村藤田キミ(三)の實家に寄寓中平第一小學校の野球コーチャーを爲して居たが突如平署に引致され警視廳に引渡された事件の内容は本社の探知する處に依れば同人は下野中學校長等の卒業證書濫發を知り芝區三田小山町近藤美喜雄(三)同人の弟三郎(三)の兩名と共に學校當局を脅迫し巨額の金員を捲上げた

朝鮮牛獎勵 勞力の補給

勞力の補給

石城郡にては農村振興の急務として勞力の補給肥料の製作其他運送搬出に最も適當した朝鮮牛の飼育を一般に獎勵中である

不平受付

投書歡迎

旗の竹取り、毎年運動會の頃には山へ旗竿にする竹を取りに来る小學生が多く甚だしいのになると一人でも十本宛も取つて行くのです。多人数ですから大いに迷惑ですが學校ではだまつて見て居るのでせうか

(一山の主)

●曾我第一校長の答 ●兒童としては他人の山であるとの觀念が薄い爲め別段悪い事をするとの自覺がなく平氣で取つて来るのだと思ひますから何かの機會によく注意して置きます



霜柱いも

これは諸を一度油で揚げてから砂糖の衣をかけるので、まづ筋のない上等の諸

炭礦被害 技師の調査

技師の調査

内郷村にては既記の如く炭礦業者が掘進するに従つて直接間接に耕土、農作物に被害を與へて居るので同村農會長管波忠治氏外三百三十九名は本縣へ調査方を請願したが廿五日仙台礦務所松本技師が出張するとの事である

讀者諸君の 思ひ付きを募る

本紙は讀者諸君の爲めに備へた公器であるの故を以つて常に諸君からの御注意を參酌して本紙の製作に努力して居ます、就いては來月一日を以つて創刊滿一週年に達しますのを機會とし紙面に改善を要すべき點に關して諸君の思ひ付きを左記要領にて募り採用せるものに對し薄謝を呈します

芝居の眞似 女の發狂者

女の發狂者

八幡小路警中舊グラウンドは今日平第一第二兩小學校の運動會にて人出多く非常な賑ひを呈したが其中に卅歳前後の女が髪振り亂しして、止めもなき事を口走り芝居の物真似等を爲す爲め

鹿島稻作良好

石城郡鹿島村農會にては廿日稻作立毛品評會を催したが何れも一坪二升一合平均にて成績良好であつたと

農作盜難豫防

石城郡鹿島村にては農作物豫防に關する宣傳ビラを騰寫版刷と爲し一般に配布したと

平町人事

▲出生
△坂橋小路 吉田廣三郎氏二男道夫
△南町 本間金太郎氏三女トミ子
△三丁目 渡邊兼作氏長男勝雄